

下関市立考古博物館 令和3年度 第5回文化財講座

# 恐竜が生まれ暮らした下関

～卵化石と地層から推測する恐竜時代の光景～



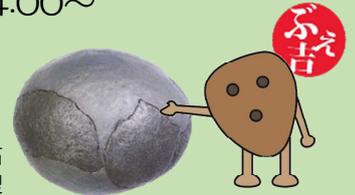
講師 福井県立大学 恐竜学研究所助教 今井拓哉 氏

日時 令和4年1月29日(土) ①10:30～ ②14:00～

※①②ともに内容は同じ

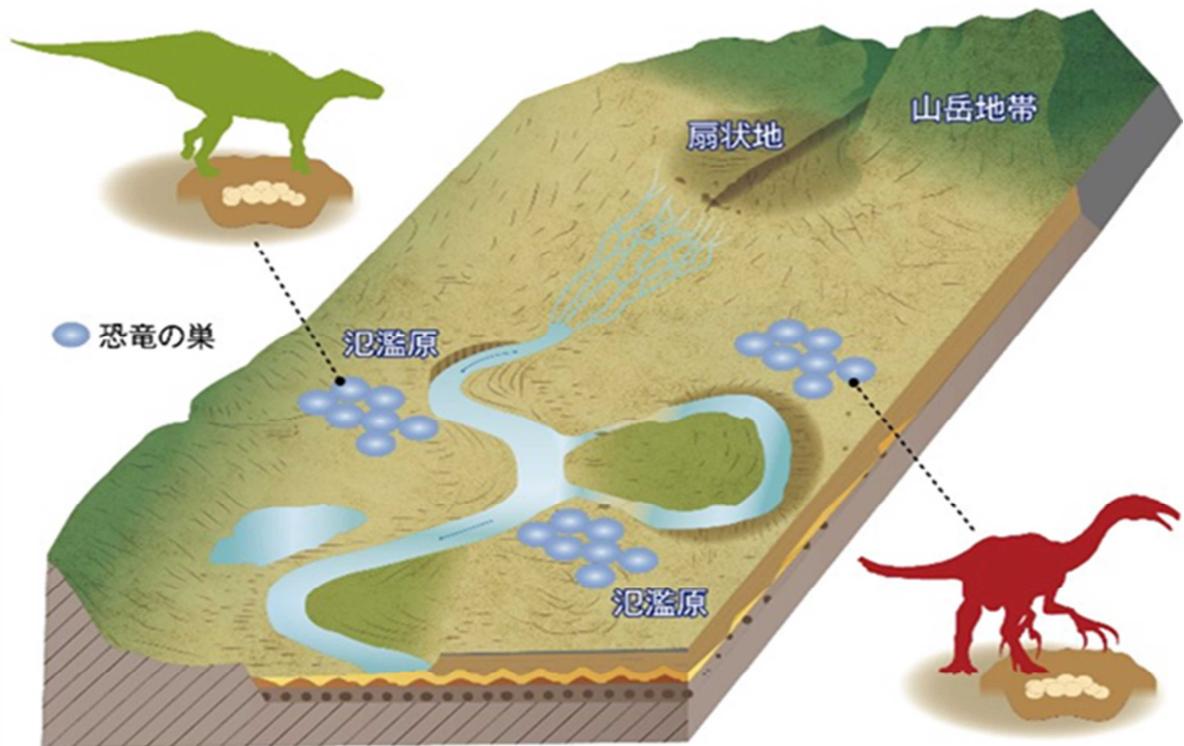
場所 下関市立考古博物館 講堂  
定員 各25名(要予約・先着順)  
聴講料 300円

恐竜卵化石  
復元模型



平成29年に、60年の時を経て再発見された下関市産の恐竜卵化石により、下関市がわが国で、最初に恐竜化石が発見された場所であったことが明らかとなりました。さらに、令和元年には、新種の恐竜卵化石として、下関市の地名を冠した学名「マルチフィスウーリトゥス・シモノセキエンシス(ラテン語で「下関の多裂卵石」という意味)」が与えられるとともに、考古博物館に寄贈を受け、常設展示が開始されました。

このたびは、卵化石の命名者に、その後の最新の恐竜研究の成果も踏まえ、約1億年前の恐竜が生まれ暮らした下関の様子について、ダイナミックにお話しいただきます。



## 下関市立考古博物館

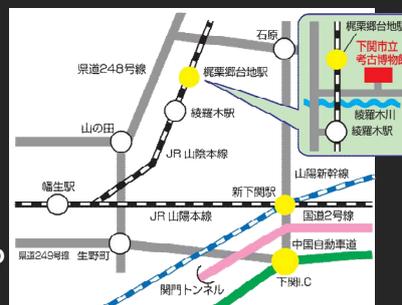
〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡 454

TEL 083-254-3061

FAX 083-254-3062

E-mail [koukohaku@city.shimonoseki.yamaguchi.jp](mailto:koukohaku@city.shimonoseki.yamaguchi.jp)

HP <https://www.shimo-kouko.jp/>



### 【交通案内】

- JR山陰本線  
梶栗郷台駅より 徒歩約5分
- JR山陽本線  
新下関駅より タクシー約5分
- サンデン交通郷台地入口  
バス停より 徒歩約5分
- 中国自動車道  
下関ICより 約5km
- 駐車場 87台(無料)